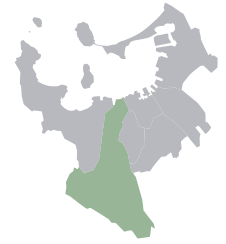




早良区のまちづくりの方向性



早良区は南北に長く、山、川、海と豊かな自然に恵まれた多様な魅力にあふれています。北部は、商業・文教・交通の拠点として近代的な街並みを有し、中部は、閑静な住宅地域が広がり、南部は、緑と自然が豊かな農業・住宅地域です。

北部、中部、南部が持つ地域性や魅力を生かしながら一体感のあるまちづくりをめざします。北部では、大学や企業・商店街などと連携した活力あるまちづくり、中部では地下鉄七隈線や平成外環通りの沿線を中心に便利で快適に暮らせるまちづくり、南部では豊かな自然を生かした市民の憩いのまちづくりをめざします。



▲シーサイドももち



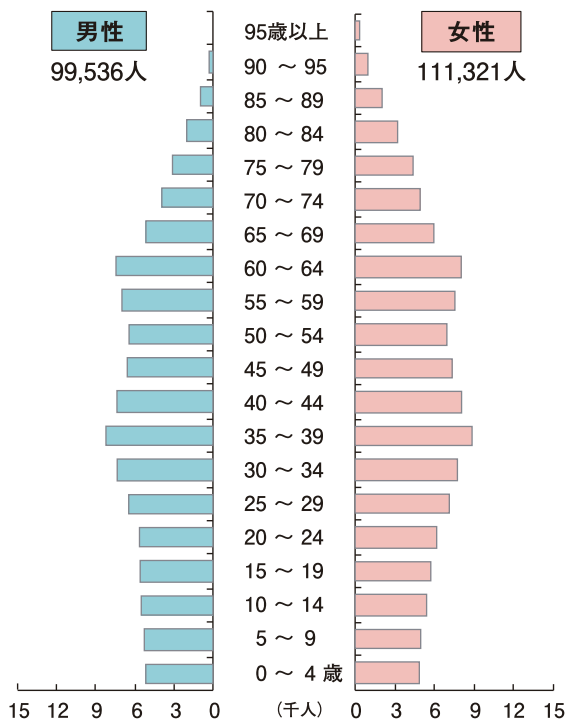
▲脇山

■早良区 人口と高齢化率の推移(国勢調査)



	平成12年	平成17年	平成22年
人口	203,656	209,570	211,553
増減率	3.5%	2.9%	0.9%
15歳未満	32,337	31,417	31,510
割合	15.9%	15.0%	14.9%
15～64歳	145,141	145,996	142,113
割合	71.3%	69.7%	67.4%
65歳以上	25,570	31,730	37,243
割合	12.6%	15.1%	17.7%

■早良区 5歳階級別人口



資料：平成22年国勢調査（注）年齢不詳を除く

《まちづくりの方向性》

交流

- 西新・藤崎は、庶民的なにぎわいをもつ活気あふれる商業地域であり、商店街や文教施設のほか、区役所、警察署などの行政機関も多く集中しており、シーサイドももちは、緑豊かな住宅地と博物館、総合図書館、福岡ソフトリサーチパークなどの文化・情報関連施設が共存しています。西新・藤崎とシーサイドももちとが回遊性を高め、一体となった福岡市西部の拠点づくりを進めます。

活力

- 野芥では、交通結節機能を生かした福岡市西南部の新たな拠点づくりを進め、区の中南部地域に、コミュニティの拠点としての地域交流センターの早期整備を図ります。

活用

- 地下鉄七隈線や平成外環通りを生かし、沿線・沿道の快適で便利なまちづくりを進めます。また、都市計画道路の整備を推進するとともに、地下鉄やバスへの乗り継ぎなどの交通結節機能の強化を図ります。

快適

- 住宅を主とした地区では、ファミリー世帯を中心とした快適で安全な生活ができる住宅地づくりを図ります。

環境

- 区南部の農村地域では、都市近郊農業を推進するため、農地の保全・活用を図ります。

安全

- 脊振山系の樹林地や室見川の河川空間などでは、貴重な自然環境資源の保全・活用を図ります。




- 災害時などの安全を確保するため、室見川や樋井川などでは浸水対策を進めるとともに、狭あい道路の多い地区などでは、道路環境の改善を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

早良区の将来像とまちづくりの視点



全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの視点などについて、以下のとおりに整理します。

● 拠点など

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点	
西部広域拠点 (西新・藤崎・シーサイドももち) 	多様な都市機能と行政サービス施設や商業施設などが連携したふれあいとにぎわいのある西部広域拠点	商業核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西部広域拠点にふさわしい商業・業務・サービス機能などの誘導と商店街などと連続性のある街並みの形成 ○ 商業機能の集積に見合った駐車・駐輪場整備などの交通結節機能の強化 ○ 建物景観の誘導や緑化などによる魅力ある都市景観の形成 ○ 安全で快適に歩ける歩行空間の形成
		行政核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービスの中心地としての機能充実と景観の形成
		業務核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務施設の集積と良好な業務環境の維持・向上
地域拠点 	商業・サービス機能が集積し、交通結節機能が充実した西南部地域の新しい拠点となるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通結節機能の向上 ○ 商業機能などの適正な誘導 	
活力創造拠点 (シーサイドももち) 	福岡市のリーディング産業である情報関連産業などが集積する拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化・情報関連機能の集積 ○ 西新・藤崎への回遊性の向上 	
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に対応した商業・サービス機能の強化 ○ 安全に歩ける歩行空間の形成 	

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
地下鉄七隈線 駅周辺ゾーン 	鉄道駅を中心として利便施設が集まったまち	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅周辺としてふさわしい土地利用の誘導 ○魅力ある街並みの形成とオープンスペースの確保 ○周辺地域から鉄道駅へのアクセス性の向上
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路などの整備状況に応じた土地利用の誘導 ○沿道の有効利用 ○連続性のある良好な街並みの形成 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

●環境資源などを保全・活用するエリア

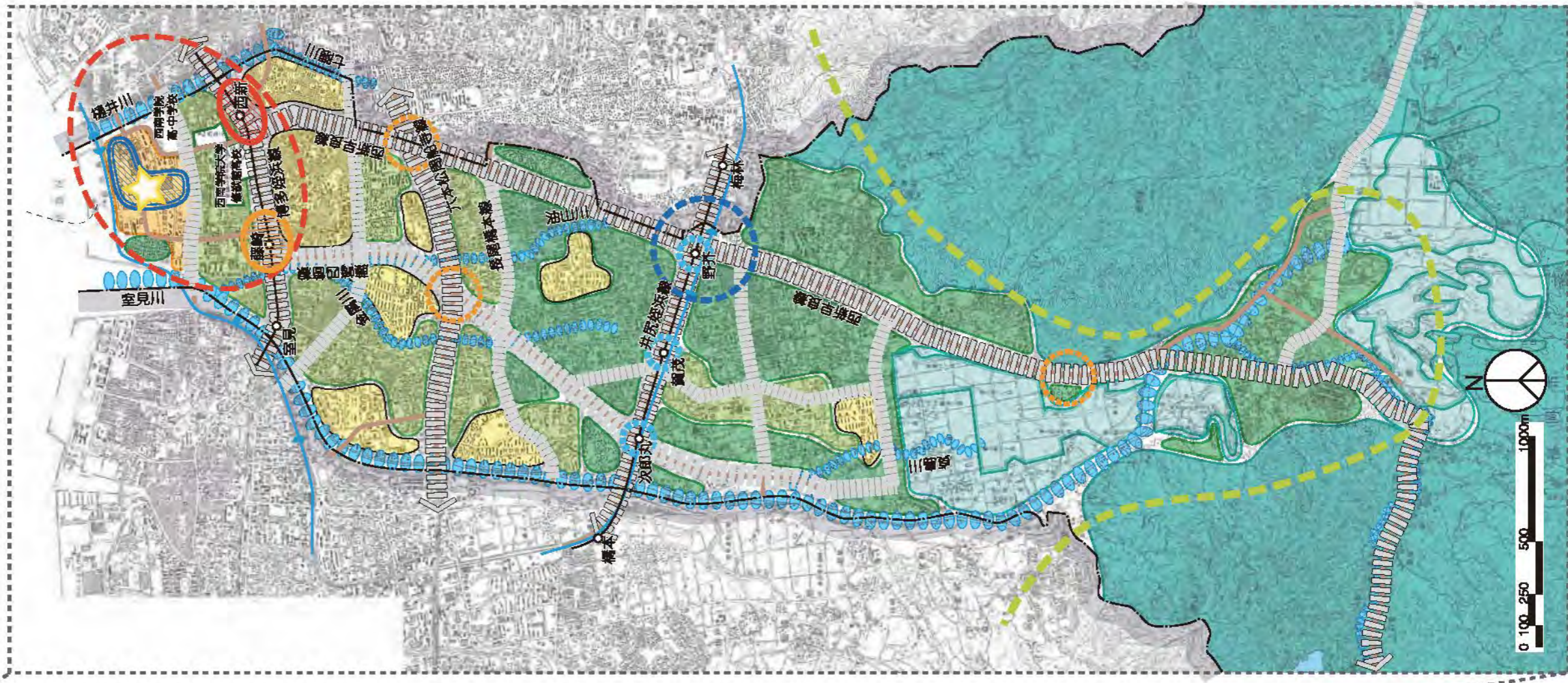
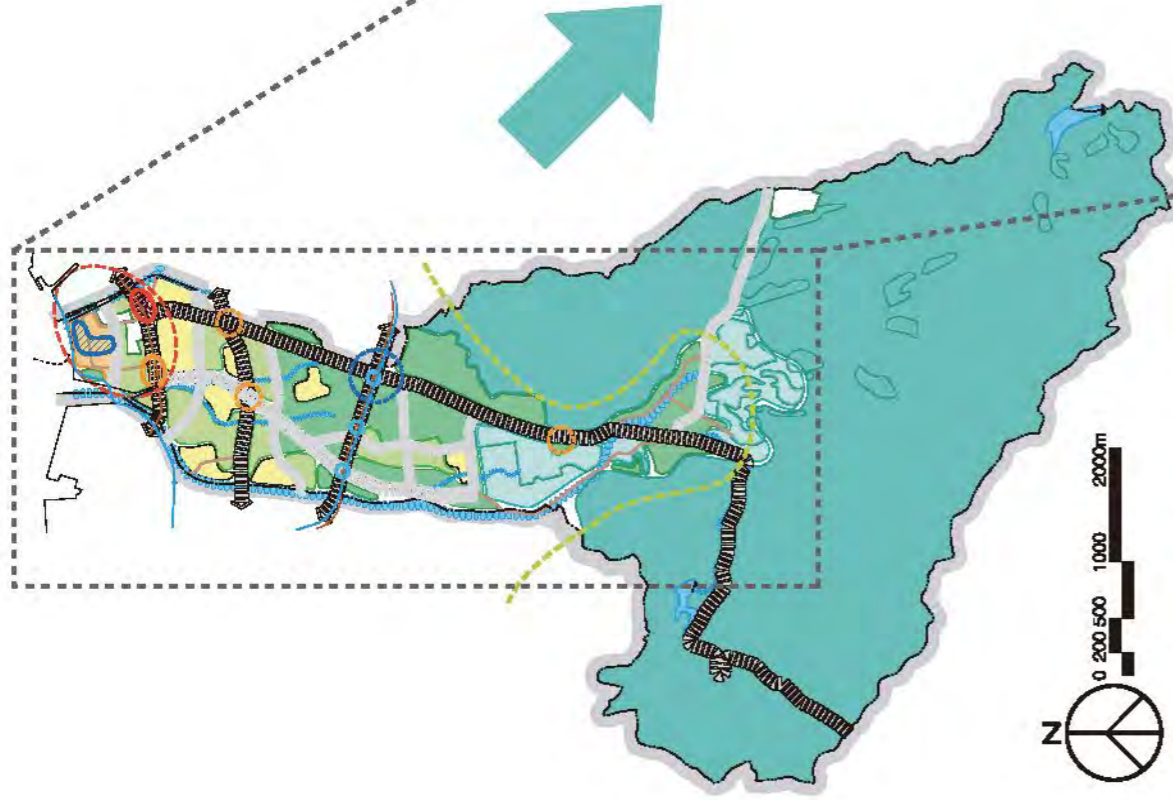
ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
森の緑 活用空間 	山や森林に囲まれ、市民や来街者が自然とふれあえるレクリエーションと憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ○脊振山系や荒平山、油山の豊かな自然や歴史資源の活用
河川緑地軸 	室見川など、地域の散策・憩いの場となるとともに、緑と広がりのある景観が連続したゆとりと潤いのある水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で快適な都市基盤の整備 ○河川沿いの緑化などの美しい都市景観の形成 ○親水性の向上

●土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア

ゾーン	現況	まちづくりの視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に、拠点機能を支援する業務施設・商業施設が共存する複合市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○職住が調和した複合市街地づくりと良好な街並みの形成
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅で形成される住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○中高層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○大規模団地などの老朽化に対する適切な対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○低中層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○低層住宅と中層住宅の調和 ○狭あい道路の改善
低層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅を主とする住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○低層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○老朽化した戸建住宅などの課題への対応 ○狭あい道路の改善
農業・集落ゾーン 	市街化調整区域内で農地が広がり、農村集落などが分布するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然や農地の保全 ○集落環境の保全と活性化 ○農業の活性化
山地・丘陵地 	山林や河川などの豊かな自然環境を保全・活用した魅力ある中山間地	<ul style="list-style-type: none"> ○緑地の保全・育成 ○無秩序な開発の抑制

早良区の将来像図

※この将来像図は、全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて分類した拠点・ゾーン・軸を示した図面です。



〔凡例〕

- 拠点等
- 西部広域拠点
- 商業核
- 行政核
- 業務核
- 地域拠点
- ★ 活力創造拠点
- 生活商業地
- 地下鉄七隈駅周辺ゾーン
- 都市軸
- 沿道軸
- 環境資源等を保全・活用するエリア
- 森の緑活用空間
- 河川緑地軸
- 土地利用等の現況から市街地を類型化したエリア
- 複合市街地ゾーン
- 中高層住宅ゾーン
- 低中高層住宅ゾーン
- 低層住宅ゾーン
- 農業・集落ゾーン
- 山地・丘陵地
- 都市計画道路等
- 自動車専用道路
- 地下鉄
- 鉄道
- 農用地区域
- 大規模施設
- 航路
- 区界

早良区《現況・課題》

- 早良区は、北は海に面したシーサイドももちから、南は緑豊かな脊振山系まで、南北に長く広がっており、西端を市民の憩いの場となっている室見川が流れています。また、蒙古襲来に備えて築かれた元寇防塁や黒田藩の御用窯だった高取焼など歴史的な資産が多い地域です。
- 区北部の地下鉄沿線の西新・藤崎は、活気あふれる商業地域として発展を遂げ、高校、大学、インターナショナル・スクールなどの文教施設のほか、区役所、市民センターや警察署、税務署などの行政機関も多く集中している地域です。
また、都市の成長を推進する活力創造拠点であるシーサイドももちでは、福岡タワーや近代的な建物がある住宅地と博物館、総合図書館、福岡ソフトリサーチパークや放送局などの文化・情報技術関連施設が集積しており、西新・藤崎とともに福岡市の西部広域拠点となっています。
- 区中央部の原や荒江、飯倉、有田などは、大規模な住宅団地の建設により、ファミリー世帯を中心とした住宅地区となっており、幹線道路の沿道には商業施設が多く立地しています。近年、団地住民の高齢化や人口の減少により、地域コミュニティづくりに支障を来す状況も見受けられます。
また、区中南部の野芥・次郎丸では、井尻経浜線（平成外環通り）や地下鉄七隈線、都市高速道路5号線（野芥～福重間）の整備が完了しています。
- 商店街や大規模な店舗などが西新早良線（早良街道）、博多経浜線（明治通り）、藤崎四箇線（原通り）、井尻経浜線（平成外環通り）、六本松周船寺線（今宿新道）沿道に多く立地しているため、日常生活の買い物の利便性が高くなっています。
- 豊かな自然に恵まれた区南部地域は、脊振山系の豊かな清流を生かした市内でも貴重な農業地域であり、また、林業地域でもあります。一方で、高齢化、過疎化のため、農林業の後継者不足による森林の荒廃や耕作放棄地の問題とあわせ、市民の日常生活に必要な公共交通機関の維持が課題となっています。
また、野河内溪谷、花乱の滝、坊主ヶ滝など豊かな自然を生かした市民の憩いの場としての環境整備も課題となっています。
- 主要な道路は、東西に都心部から糸島方面へ至る博多経浜線（明治通り）、六本松周船寺線（今宿新道）、井尻経浜線（平成外環通り）、また、南北に三瀬峠ループ橋を経て佐賀方面へ至る西新早良線（早良街道）、藤崎四箇線などが走っています。
- 西新早良線（早良街道）周辺や藤崎四箇線（原通り）、六本松周船寺線（今宿新道）周辺には、幅員4m未満の狭い道路が多い地区が広がっています。特に、西新早良線の周辺には、築30年以上の木造建築物も多く立地しているため、災害時の安全性などの面で課題となっています。

〔凡例〕

- 都市計画道路等（整備済・概成）
- 都市計画道路等（未整備・整備中）
- 自動車専用道路
- 街区公園
- 主な都市公園
- 主な緑地
- 海浜公園
- 特別緑地保全地区、緑地保全林地区
- バスターミナル
- 自転車駐車場（公営）
- 農地の多い区域（市街化区域内）
- 商店街
- 大規模な店舗（1000㎡以上）
- 小学校
- 小学校区界
- その他の教育施設（中、高、大）
- 公共文化施設
- 文化財・寺社
- 農用地区域
- 市民農園
- 地区計画区域等
- 土地区画整理事業施行地区
- 狭い道路分布地区（4m未満の道路が多い地区）
- 築30年以上の木造建築物が多い地区（築30年以上の木造建築物が50%以上）
- 標高80m以上
- 河川・ため池
- 地下鉄
- 航路
- 市街化区域および市街化調整区域界
- 区界

